



2022-2023 年度 国際ロータリー第 2730 地区 宮崎県中部グループ

宮崎アカデミーロータリークラブ 会報

第 106 回 例会 2023 年 2 月 28 日

●例会場 宮崎大学地域デザイン棟

会長 薬王寺文宏 副会長 成合 修 幹事 安田文彦

■会長の時間 薬王寺文宏 会長



みなさん、こんにちは。

最近では働き方改革についてのセミナー、研修を受けることが多く、その中でハラスメントが取り上げられることがしばしばあります。

受け売りではありますが、ハラスメントについて少しお話ししたいと思います。

まずは、私の受けたセミナーではハラスメントは 35 種類あると言われていましたが、これはどんどん増えていくんでしょうね。

よく耳にするハラスメントで言うと、セクハラ、パワハラ、モラハラ、ヌーハラなどがあります。ヌーハラはそばやラーメンを食べるときにすする音に不快感を感じるということですが、私はそばを食べるときは大きな音を立てて麺をすするので、それを苦痛に感じていらっしゃる方もいたかもしれません。

今回は組織で仕事をするうえで非常に重要になってくるパワハラについて、お話ししたいと思います。パワハラとは、労働施策推進法ではこのように定められています。

- ① 職場にて優位な関係に基づいて行われること。上司の部下に対する言動、集団の個人に対する言動、知識や経験に優れた労働者のそうでない労働者に対する言動が該当します。
- ② 業務上必要かつ相当な範囲を越えた言動であること。
- ③ 労働者の就業環境を害する言動であること。これについては以下の 6 類型に当たる行為が該当します。
 - ・身体的な攻撃(殴る、蹴る、ものを投げる)
 - ・精神的な攻撃(人格否定、侮辱、過度に長時間の叱責、他の従業員の面前での叱責)
 - ・人間関係からの切り離し(合理的な理由のない隔離、集団での無視)
 - ・過大な要求(達成困難な目標を課し、達成できなかった場合に厳しき叱責する)
 - ・過小な要求(能力見合った仕事を与えない、追い出し部屋に異動させる)
 - ・個の侵害(プライベートな事柄を過度に詮索する、職場外で継続的に監視する)

ということです。私が「これもパワハラに該当するのか」とビックリしたのは、“過小な要求”という項目です。《見て覚えなさい》というのもこれに当てはまるということで、正しい対応の仕方というのは《マニュアルを作成し、それに則って指導する》ということだそうです。私は大学を卒業した後、飲食業界に入りコックなどしておりました。当時の環境は丁寧に “見て盗んで覚えろ” という時代でしたので、それが身に沁みついています。今時そんな指導をしたらパワハラに当たるといって、意識改革が必要ですね。

それでは、もし身近でハラスメントが発生した場合はどうすればいいかといいますと、事実関係を迅速かつ正確に確認し、速やかに被害者に対する配慮のための処置を適正に行うことが大切だそうです。また再発防止に向けた措置を講ずることも必要です。

もし皆さんで手に余るようでしたら、速やかに安田幹事へご相談していただければと思います。

■ 幹事報告 安田文彦 幹事



みなさん、こんにちは。本日の幹事報告は5点ございます。

- 1 宮崎県中部グループ・南部グループ IM 開催のご案内が届いております。メールにて出欠を取りますので、ご回答をお願いいたします。
- 2 RYLA 研修のポスターが届いておりますのでご確認をお願いいたします。
- 3 穎娃ロータリークラブ、加世田ロータリークラブ、枕崎ロータリークラブ創立 50 周年 合同記念式典・祝賀会が開催されます。
- 4 小林ロータリークラブ、枕崎ロータリークラブの例会場変更のお知らせが届いております。
- 5 2023 年 2 月 14 日の寄付についてご報告いたします。ロータリー財団が 2,376 円、米山奨学金が 3,996 円でした。引き続きよろしくをお願いいたします。

■ 各会員からの報告



奉仕プロジェクト委員会 勢井由美子 委員長

①ロータリー奉仕デーは、5月21日(日)午前中に決まりました。一ツ葉海岸です。是非ともこの時間を開けてくださいますようお願い致します。

②アフガニスタンの方々の支援につきまして、先日申しましたアフガニスタンの方々の支援のみではなく、ミャンマーの留学生も非常に大変な状況であることから、宮崎大学の元留学生支援全般にご支援願いますよう訂正いたします。

③3月6日(月)16:00～ニシタチ子ども食堂開催です。どうぞご支援よろしくをお願い致します。



クラブ管理委員会より

出席担当 瀧伸一 委員

第 106 回例会出席について、次の通り報告いたします。

- ・開 催 日： 2023 年 2 月 28 日火曜日
- ・会 員 数： 41 名
- ・ホ ー ム 出 席： 20 名
- ・オンライン出席： 2 名
- ・出席者合計： 22 名（暫定出席率 53.65%）



プログラム担当 辻清 委員長

○次回、第 107 回例会について

2023. 3. 14（火）12:00～地域デザイン棟です。
会場をお間違えないようご注意ください。

○観桜会（夜間例会）について

2023. 3. 28（火）第 108 回例会は、観桜会（夜間例会）となっております。
近日中にメールにて案内をお届けします。出欠簿となっておりますので、返信を事務局にお願いします。

清花ニコニコ BOX

宮崎大学への寄付について

本日、私が務める矢野興業グループ(株)三興運輸が「みやぎん CSR 型私募債 (with) を活用し、宮崎大学へ寄付をいたしました。宮崎大学学生の修学支援や就職支援、国際交流活動、キャンパス環境の整備など教育環境整備の一部や外国人卒業生（アフガニスタンやミャンマー、ウクライナ等）の人道支援に使っていただければと考えました。

■卓話 宮崎県中部グループ 藤本範行ガバナー補佐 様



〔小林における講演会資料より〕【 講師・藤本範行先生のプロフィール 】

1946 (S. 21) 年 12 月 5 日生 藤本家の 11 人兄弟姉妹の末っ子として日向市美々津で生まれる。美々津小学校→美々津中学校バレー部に入部・高山先生との出会い。高鍋高校では、休部中のバレー部を復活へ。主将を二年間。
1965 (S. 40) 年 明良兄の勧めで、関西学院大学経済学部に入部。バレー部に入部。卒業年に関西学院大学・体育会「功労賞」を受賞。

1969 (S. 44) 年 大学を卒業。関西学院大学院文学研究科に進学(教育人間学専攻)
1972 (S. 47) 年 日向工業(地理)・高鍋農業高校(書道)の非常勤講師・バレー部コーチ(2年間)
1974 (S. 49) 年 日南農林高校に新任・・・6年間勤務。4年目からベスト4 日高先生との出会い
1980 (S. 55) 年 都城工業高校に転任・・・15年間勤務(33～48歳)
全国総体14年連続出場、全国「春の高校バレー」8年連続11回出場。
全国総体準優勝1回(S.60)、全国3位(4回)九州大会優勝(6回)・準優勝(4回)
宮崎県高体連「スポーツ賞」6回受賞、県体協「スポーツ賞」3回受賞。
1995 (H. 7) 年 母校・高鍋高校に転任・・・14年勤務、3年非常勤講師(48～65歳)
県高校1年生大会優勝(3回)、県高校総体ベスト4(3回)
2007 (H. 19) 年 高鍋ロータリークラブ入会。 橋口君との出会い
2010 (H. 22) 年 藤本ぼかぼか整体院を開院(64歳～2023年4月に13周年)
2011 (H. 23) 年 高鍋ロータリークラブ幹事就任。
2013 (H. 25) 年 県バレーボール協会副会長。高鍋町バレーボール協会会長～現在
2015 (H. 27) 年 高鍋ロータリークラブ会長に就任。
2022 (R. 4) 年 宮崎県中部グループ・ガバナー補佐に就任。(76歳)

卓話・タイトル 「出会いに感謝して、活かすことの大切さ」

(1) バレーボールと高山先生との出会い

幼少期から小児喘息に苦しんでいた私は、病気克服のために、中学でバレーボールに入部して高山先生に出会う。とても愛情あふれる素晴らしい先生で、バレーが大好きになった。日高先生との出会いは、ゆくゆくはバレーボールを指導する高校教員へと繋がった。

(2) 兄の明良と関西学院大学との出会い

次兄の明良は「お前のように勉強が少しばかり出来ることを自慢に思ってる奴は、人間としてつまらん」と言って、自分の出た関西学院大学は「スゴイ学生の集まりだからそこで揉まれるとよい」と関学進学を勧めた。大学のバレー部は、大松博文監督を輩出しており、想像以上に練習が厳しく、ついていけずに何度も退部を考えた。大学2年の夏のお盆休みに帰省した時に、兄は車で事故を起こして死亡。悲しみに明け暮れたあと、あることをきっかけにやる気を出して頑張るようになった。プレイングマネージャーの努力が評価され？大学4年の秋に体育会功労賞を受賞する。兄の墓前で涙の報告。

大学のモットーは、「Mastery for Service」(奉仕のための練達)で、「奉仕」という言葉の素晴らしさに初めて出会う。

(3) 都城工業高校バレー部、日高先生との出会い

高校2年の春。宮崎県の高校バレーボールリーダー養成合宿で都城工業高校監督の日高先生に出会い、適切な指導を喜んで受ける。高鍋高校は、初のベスト4入りを果たす。

関学大学院卒業後に宮崎の高校教員になり、日南農林高校へ。この6年間の頑張りぶりを日高先生に高く評価してもらい、「まさか！」驚きの都城工業高校監督に！

最初は延岡工業に勝てなくてつらい思いもしたが、やがて九州大会でも優勝出来るようになり、春高バレーで3位、全国総体で準優勝も経験して、日高先生にも褒めていただけるようになれた。

(4) 橋口君と、ロータリーとの出会い

高鍋高校に転任して、11年目に同窓会副会長の橋口清和君に出会う。アメリカから交換留学生が高鍋高校に来たし、出前講座をロータリークラブがしていることに関心を抱き、自分の還暦を機に、橋口

君が会長の時に入会する。4年目に幹事、8年後に第40代会長となる。

(5) D E I (ダイバーシティー・イクイテイー・インクルージョン)の大切さ

今年度のRI 会長が推奨するDEI は、ダイバーシティー(多様性)イクイテイー (公平) インクルージョン(包括性)を大事にすること。覚えやすいようにローマ字読みで出会いともいう。自分とは違う多種多様の人を認めて仲良くお付き合いして、しかも公平になるよう努力して受け入れることをロータリアンは心がけようと呼びかけている。

人生での出会いは極めて大事なものである。宿命的な出会いや、努力途中で出会うことがあるけど、その出会いに気づくかどうか、その出会いに感謝して活かせるかどうかで人生は大きく変わる。ロータリークラブに入会して、今まで以上に沢山の素敵な人との出会いを楽しみ、活かしながら人生を豊かなものにして行きたいものである。その際に、D E I を心がけてロータリーライフを更に素敵なものになりたい。